

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅰ.理念に基づく運営</b>			
1.理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らし暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明るく元気で穏やかに」を理念とし、ご自分のペースで過ごしていただけるよう支援しています。近所の方とも気軽にお話をしながら触れ合ったり、散歩に出かけたりして、地域の中に溶け込み、町内の一員として生活を送ってられます。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念に基づいて日々のケアをおこなっています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関 事務所に理念を掲示しております。	
2.地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の散歩、地域の行事への参加で利用者様は近隣の皆様とあいさつを交わしたり、お話する機会があります。ご近所付き合いを大切にしております。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(運動会)やおまつり(博多どんたく)に利用者様とともに参加しています。町内会にも参加させていただいています。町内会の皆様からは、非常時は力になりますと暖かい言葉を頂戴しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施にはいたっておりません。今後、何かお役にたてることがあればできる範囲で行っていきたいと考えています。		気軽に介護相談に立ち寄っていただけるようなホーム作りに努めて参ります。
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を受け入れ、日々の介護の質の向上、改善につなげていけるよう努めています。自己評価については、自ら反省の材料としています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、参加者の皆様のご意見をいただき、運営改善に役立てています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者らと運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在は、市町村担当者様との行き来はありません。今後質の向上のため、行き来する機会を作っていきたいと思えます。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員には、個別に勉強の機会を設けています。地域の皆様に対しては玄関前に掲示板を設置し、パンフレット等を自由に取っていただけるようしており、情報発信に努めています。		ご家族様に対しても情報発信を行っていききたいと思えます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を開催し、高齢者虐待防止法に関する理解を深めるとともに、法令遵守に取り組んでいます。職員が虐待は絶対にしてはならないとの意識を持ち、徹底を図っています。また、日々管理者と職員が、話し合いの機会を持つようになっています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解 納得を図っている</p>	<p>入居時に契約内容等について十分な説明の時間を取るように努めています。起こりうるリスク、医療上対応可能な範囲等についても説明を行っています。契約後も、ご質問があれば懇切丁寧に対応できるよう努めています。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が利用者様と個別に話し合いの時間を持つように努めています。ご家族様には、契約の際に外部の相談機関についてのご説明をしています。介護に対する不満や疑問には真摯に受け止め、質の向上に努めています。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご訪問の際や、請求書発送の際に日々のお暮らしの様子や行事の内容、エピソード等をお伝えしています。金銭管理については、事業者で全額立替し、請求書に明細を表示し、請求書を差し上げています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族様にはご訪問時や請求書発送の際に日ごろの様子をお伝えし、ご要望をいたたくよう努めています。</p>	<p>近日中に家族会を開催し、ご意見をいただきたいと考えています。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>申し送りの際や個別のミーティング、勉強会において意見を聴くように努めています。介護の質の向上について、職員の提案、考えを受け入れています。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者は必要時はシフトに入り、職員と共に働いています。しかし、できるだけ日々のシフトに入らず、利用者様の急変時の対応、ご家族様の相談にのることができるよう 柔軟な対応ができる体制作りを心がけています。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職防止のために管理者が職員との面談、会話の時間を設けています。できるだけ離職を防ぐように努めますが、かなり厳しい状況です。離職の際には、利用者様へのダメージを最小限にできるよう努力しています。</p>	<p>職場以外の場所で飲食等をしながら、相互理解や悩みの解決につなげていきたいと考えます。</p>

グループホーム 安住

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>採用の際は、利用者様の生活の質の向上を支援でき、熱意のある方を採用しています。利用者様の介護、生活の質の向上に貢献できる人材であることが、採用の際優先事項です。職員は、自ら考え、規則、法律を遵守し、お互いの人権尊重し、利用者様、ご家族様、他職員と協同でき、熱意を持って職務に当たれる人材であることを重要視しています。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権に関する資料を日常的に閲覧でき、必要に応じ資料の持ちかえる等自宅学習ができる状況にしています。また、個別の勉強会の機会を設けています。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>行政、グループホーム協議会の新人研修の資料に加え、介護保険法をはじめとし、関連法規の学習する機会を設けています。人事考査を随時行い、必要と思われる知識についての学習や外部研修への参加を計画し、実行しています。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に参加しています。ブロック単位での研修、交換研修、人事交流等に積極的に参加しています。本年度は交換研修を3回実施する予定です。ネットワーク作り、介護の質の向上、専門性を身につける、モチベーションの維持を目指しています。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>管理者と職員が、日常や面会時に仕事上での悩みやストレスについて話し合う機会を設けています。研修への参加、他ホームとの交流で職員がリフレッシュできる機会を設けています。悩みを一人で抱えこまないよう、連帯を強めるよう努めています。</p>		<p>小人数による運営のため、ホーム外での行事(食事会)の開催も厳しい状況ではありますが、できることを企画していきたいと考えています。</p>
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>管理者と職員が十分なコミュニケーションの時間を持つように努めています。職員の介護への悩み、思いを理解するように努めています。職員一人一人の希望、資格取得等キャリアプランについて話し合いをし、目標に近づくように支援しています。</p>		<p>資格取得後は、職場内で生かせる環境を作り、スキルアップを支援したいと考えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>職員が利用者様の言葉することが難しい思いやご希望を、日ごろから察知できるよう努めています。職員が利用者様の居室に訪問し、個別にお話をゆっくり伺う機会を設けています。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居時の問い合わせや相談については、管理者・職員が十分にお話を伺えるように努めています。入居後も気軽に相談していただける体制づくりに努めています。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居時のご相談を受ける際、明らかに当ホームでは受け入れが難しい方(医療の必要性が重度の方)については、受け入れができるホームの紹介や、他制度の利用をお勧めしています。ご要望があれば情報の提供をしています。</p>	
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>いきなりサービスの開始・入居するのではなく、まずはホームに日中遊びにきていただいたり、お試し入居制度でホームでの生活を体験していただいています。利用者様、ご家族様に実際に体験し、ホームの雰囲気を感じていただいたからの利用、契約へとつなげていけるように努めています。</p>	<p>ご家族様向けの一日体験入所制度も検討中です。</p>
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様の持たれている能力を最大に生かしていただけるよう日常生活を支援しています。また、利用者様の得意とされることを表現する場作りや、役割を持って生活していただけるよう努めています。職員がわからないことは、利用者様の助言により問題解決ができることも数多くあります。</p>	

グループホーム 安住

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様はもちろん、知人、友人の方の来訪について積極的に支援しています。また、希望される方については、外泊、旅行等についても積極的に支援しています。ご希望される方については、電話での交流、手紙での交流を支援しています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	個別にお話、ご要望をお伺いすることにより関係作りに努めています。		ご家族様から困ったことや希望されることを、ご遠慮なく職員に伝えていただけるよう、今後とも関係作りに努めたいと思います。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	ご家族様や友人、知人の方の訪問を歓迎しています。利用者が行きたいといわれる場所については、ご家族様と相談のうえ、できる限り管理者が同行する等の支援をしています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるよう努めている	利用者様同士の関係については、職員が注意深く見守りを行っています。一緒に過ごしていただける時間を持っていたるよう支援しております。		一人で過ごす時間を大事にされる方、集団が苦手な方には個別に対応し、強制はしておりません。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用者様やご家族様との話し合いの上で、契約終了後も馴染みの職員が面会、訪問をさせていただいています。契約終了後も毎年、年賀状を下さるご家族様もおられ、お心遣いに大変感謝しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中での会話、見守りの中で利用者様の望みや希望を察するよう努めています。言葉にできないご本人の希望・意向についてはご家族様にお尋ねしたり、利用者様のご様子から察知できるよう努めています。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者様一人一人の生活リズムの把握に努めています。できるだけご本人の希望に添えるよう努力しています。散歩やレクリエーションも強制するのではなく、利用者様の希望に沿って支援しています。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>介護計画、カンファレンス等で日々の変化を職員が観察し、ケアの提供に努めています。引継ぎを十分に行い、情報を共有化し、ケアの質の向上に努めています。有する力を十分に活かしていただけるよう支援に努めています。</p>	
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様やご家族様には日ごろのかかわりの中で、意見・意向をお尋ねしています。職員全員で介護計画に対しての意見交換や日々の勉強会でも細かく話し合いを持つようになっています。</p>	
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画を定期的に見直しています。利用者様の状態に変化が見られたときは、その都度、カンファレンスを行い、介護計画の見直しを行っています。必要な関係者様と協同し、チームで介護計画の変更の見直しをしています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践 結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	必要な利用者様については、介護記録に加え厚く記録をしています。確実な申し送りを行い、情報の共有化に努めています。実践及び介護計画の作成にフィードバックできるよう努めています。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在のところ行っておりません。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	防火、避難訓練の際には消防署から講師に来ていただいています。		今後は、必要に応じ各機関に協力をお願いしていきたいと考えます。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、他のサービス事業者を利用している利用者はおられません。利用者様、ご家族様の意向を確認し、取り入れていきたいと思えます。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、協働の実績はありません。今後、お願いしていきたいと考えております。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様が希望されるかかりつけ医となっています。また病院受診、通院はご家族様同行が原則ですが、緊急時は職員が受診に付き添いを行っています。		



グループホーム 安住

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の進行状態が著しい時は、ご家族様にご様子をお知らせしています。かかりつけ医に状況を報告、連絡しています。		
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が、かかりつけ医との連携、日々の健康管理に努めています。必要に応じ、医療受診へつなげています。状況に変化があった場合は、ご家族様へ報告、連絡をしています。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院による生活環境の変化へのダメージを最小限にできるように入院先に生活状況等について十分な情報提供に努めています。できるだけ早期に退院できるように病院関係者、かかりつけ医、ご家族様との連携に努めています。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に重度化した場合の説明をしています。グループホームでできることできないことについては、その都度十分に話し合いを行うよう努めています。かかりつけ医との連携にて利用者様、ご家族様への心理的ダメージを最小限に食い止めるよう努めています。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をよ良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者様本人の気持ちを大切にしながら、かかりつけ医の指導・指示に従い、できるかぎりホームで生活が続けられるよう支援しています。ご家族様へもホームでできること、できないことについて十分に話合う時間を持つように努めています。緊急時の連絡体制についても話し合いをしています。		
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えがある際は、利用者様、ご家族様が希望された場合は馴染みの職員が面会に何等支援できるよう努めています。また、住み替え先には十分な情報提供を行うように努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>勉強会やミーティングの際、利用者の人格、尊厳に対する意識の向上を図っています。職員全員が個人情報保護法の理解に努め、秘密保持に努めています。採用時には守秘義務についての説明を行い、職員は秘密保持についての誓約書を提出しています。</p>	<p>個人情報保護法、守秘義務については随時話しをしています。</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めた納得しながら暮らせるように支援している</p>	<p>利用者様に合わせて声かけをし、職員側の都合で決定権を奪わないように努めています。日常の中で利用者様本人が選択しやすい状況を作るよう努めています。</p>	
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>散歩や外出、喫茶店でのお茶の時間、町内行事への参加等利用者一人ひとりの状態や意思に配慮しながら柔軟に対応するよう努めています。一人ひとりのペースを大事にし、強制はしていません。</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるよう努めている</p>	<p>利用者様の意向を大切に、不十分な部分、判断がつかないところについては、職員がさりげなく介助をするよう努めています。</p>	
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>誕生日や行事の際には、利用者様ご本人の好みや希望を最大限に取り入れる工夫をしています。食事のテーブルセッティングや後片付け等一人ひとりの状況に応じながら参加をお願いしています。強制はせず、さりげなく参加をお願いしています。</p>	<p>お誕生日会は利用者様一人ひとり開催しております。お誕生会の献立は利用者様の最も好まれるものを提供できるよう努めています。</p>
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>職員は利用者様一人ひとりの食の好みに精通しております。要望を取り入れながら日ごろのメニューを決めています。嗜好品については、日ごろからの希望を伺い、おやつ時の提供を心がけています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄状況を把握し、トイレ誘導をしています。また排便状況については日々確認し、介護記録に記載しています。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在、入浴日は週三回予定しています。入浴については、バイタルチェックを行い、身体状況を確認しています。入浴についてはご本人のご希望を伺っております。		利用者様が入りたいと希望されるときに時間帯で入浴を支援したいのですがホームの構造上難しく、今後検討していきたいと思います。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠状況を把握し、お昼寝や休息をお勧めしています。日中の軽い運動、散歩、レクリエーションを開催し、夜間ぐっすり休んでいただけるよう支援しています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意とされる事(歌や音読等)で一人ひとりが主役になれる場や役割を持っていただける場面作りを支援しています。行事への参加については利用者様と相談し、決めています。一人ひとりの好まれる趣味(塗り絵、音読等)をしていただいています。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様ご本人、ご家族様が希望される場合は、個別に現金、通帳を持たれており、必要に応じ職員が援助しています。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者様の体調、ご気分、意向に応じて外出や行事への参加を支援しています。散歩時は季節の草花やご近所の方とのコミュニケーションを楽しんでいただいています。時には近くの喫茶店にてお茶を楽しんでいただいております。		散歩、外出については利用者様の意思を尊重し、強制はしていません。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	利用者様が生まれ故郷に帰りたい等の希望が本人様及びご家族様から相談、ご要望があった場合は、管理者等ができる限り同行す等配慮しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	電話については利用者様、ご家族様のご希望を考慮に入れ、できる限り電話を掛けていただけるよう対応しています。また、電話対応が難しい場合等は、職員が内線電話を使用し、利用者様と電話での会話をしています。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族様にはできる限りお気軽に訪問していただける雰囲気作り努めています。面会時間についてもできる限り柔軟な対応を心がけています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を管理者が個別に行っています。職員の意識の向上に取り組んでいます。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者様の言動や様子から外出しそうな気配や様子を観察し、単独外出等の危険を下げるよう努めています。居室には鍵はつけていません。玄関の鍵については、できるだけ使用を最小限にしたいのですが、玄関を開けたらすぐ公道であり、また防犯上の理由もあり施錠しています。		鍵を掛けないケアに向けて職員で話し合いを継続して行っていきます。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員が常に所在確認を行い、安全にすごしていただけるよう支援しています。二階居室で過ごすことを希望された場合は、職員が訪室し、安全確認をしています。夜勤の職員は利用者の動きがわかる場所で作業をしています。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	日常生活で使用するものについては、隠したりなおしたりせず、できるだけ自然な置き方をするように心がけています。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの身体状況から予測されるリスクを検討し、事故を未然に防ぐ取り組みをしています。日々のヒヤリハットを記録し、職員の情報共有化に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時のマニュアルを作成しています。定期的な訓練については今後力を入れていく計画をしております。消防署の協力を得て、救命講習に参加を予定しております。		消防署の救急救命講習を職員が順次受講する予定です。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を開催しています。18年度は消防署の職員をお招きし、火災の基礎知識の講義を受け、非難訓練を実施しました。ご近所の皆様にもご参加いただきました。また、職員が防火管理者講習を受講し、災害対策のレベル、意識の向上に努めているところです。		今後とも消防署、ご近所の皆様の協力を得て、避難訓練を行っていく予定です。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	介護計画に起こりうるリスクを明示し、利用者家族に説明をしています。身体状況の変化があった際には、その都度十分にご説明できるよう努めています。リスクに対しては、常に起こりうることとして、ご家族様への説明を行っております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の様子の変化に注意し、早期発見に取り組んでいます。変化がみられたときはバイタルチェックを行い、記録に残しています。状況によりかかりつけ医に報告し、指示を受けています。状況に応じ医療機関の受診を支援しています。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の処方せんを職員が確認できるよう整備しています。処方に変更があった際は、利用者様の状態を注視し、かかりつけ医に連絡報告を行うよう努めています。職員間の申し送りも徹底するよう努めています。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物せんいの多い食材、野菜料理等を多く取り入れる工夫をしています。朝食時にヨーグルト、納豆を取り入れていきます。座って行うことができるリハビリ体操や散歩等の機会を通して適度な運動により、できるだけスムーズに排便ができるよう支援しています。便秘が続く場合には、かかりつけ医に報告をしています。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後に声かけを行い、歯磨きに誘導しています。必要に応じ歯磨きの介助を行っています。必要に応じ歯科医に報告し、早期発見と治療につなぐことができるよう支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算を行い、日々の大まかな栄養摂取量がわかるようにしています。食事の摂取量については介護記録に記載しています。水分量については、定時のお茶に加え、体調や気候に応じて適量を摂取していただけるよう援助しています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防対策として、標準予防策の徹底に努めています。かかりつけ医の指導により感染症対策に努めています。使い捨ての紙タオル、手指消毒用アルコールを常設しています。利用者様には食事の前の手指洗浄もしくは、おてふきの使用をお願いし、清潔の保持に努めています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のために、食材の管理、調理方法、食器の洗浄保管等衛生管理について取り決めをしています。必要に応じ、調理師・管理栄養士がその都度確認し相談のり、指導を行っています。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周辺にお花を植えたり、ふくろうの形のポストを置く、手作りの看板を設置し、柔らかい雰囲気作りを工夫しています。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事に関する飾り付けを行ったり、職員が季節の花々を持ちより、季節を感じていただける環境作りに努めています。食事についてはできるだけその季節の食材を使用しております。食材の下ごしらえをお願いし季節を感じていただけるよう支援しています。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	職員は利用者様同士の関係を注意深く見守り、気の合った利用者様同士の交流を支援しています。また、あまり気の合わない方については、職員が間に入り交流をしていただいています。希望に応じ、居室での食事、おやつ摂取を支援しています。		

グループホーム 安住

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用されていた、なじみの家具を持ちこんでいただいています。写真や思いでの品物をお持ちいただいています。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気温と大きな差がないよう 適温を保つようこまめに温度調節を心がけています。冬場は適時換気を行い、感染症を予防できるよう努めています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、風呂場、玄関に手すりを設置しております。出来るだけ自立して過ごしていただけるよう支援しております。構造上難しい場面では、職員がサポートしております。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりのわかる力は発揮していただいています。困っておられること、わからないことについては、職員が支援しています。職員間で話し合いを持ち、できる限り自立して過ごしていただけるよう努めています。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで活動できるよう活かしている	建物周りには季節の花を植え、季節を感じていただけ、明るい雰囲気を作れるよう努めています。水遣りや簡単なお花の手入れを利用者様にお願いしています。		

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の 2/3 くらいの	
		利用者の 1/3 くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に 1 回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の 2/3 くらいと	
		家族の 1/3 くらいと	
		ほとんどできていない	



グループホーム 安住

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)